



Journal

第12号
2026(R8)年8月20日
山形県立寒河江高等学校
新聞部

全国にかけける思い 努力の結晶今咲き誇る

7月20日から8月8日にかけて各部の全国大会が行われた。カヌー部女子では全国の舞台で総合2位という素晴らしい結果を残した。他、部も全国大会で実力を存分に発揮し、個人としても部全体としても、今後につながる貴重な経験となった。



懸命に漕ぎ進める女子ペア

女子カヤックペア

5000m

第4位

土田琳子(3・1)

太田里桜奈(3・2)

女子カヤックペア

2000m

第4位

土田琳子・太田里桜奈

女子カヤックフオア

5000m

第3位

土田琳子・太田里桜奈

横尾幸乃(3・2)

土方綾乃(3・1)

女子カヤックフオア

2000m

第3位

土田琳子・太田里桜奈

横尾幸乃・土方綾乃

学校対抗

女子総合2位

【顧問寸評】

各種目の結果から、

総合優勝というのは

とても素晴らしい結果

だと思えます。レースだ

けではなく、昨年から

1年間いろんな意味で

戦い抜いた選手、マネ

ジャーの皆さんを誇り

に思っています。

女子カヤックシング

ル5000m

第3位

佐藤和佳(3・1)

女子カヤックシング

ル2000m

第2位

佐藤和佳

全国大会結果速報

【選手寸評】

佐藤和佳(3・1)

人生で一番悔しかった

でもやってきたことは間

違いでないと思う。全

日本選手権と国民ス

ポーツ大会ではレースを

思いっきり楽しんだらう

なてもいい精神で日本

一を獲りに行く。

土田琳子(3・1)

今回のインハイは各種

目優勝を目指して練

習してきました。目標

には届かなかったものの

全力を出し切り楽しむ

ことができました。応援

ありがとうございました。

太田里桜奈(3・2)

仲間を信じて自分の

全力を出すことができました。

横尾幸乃(3・2)

高校からカヌーを始め

たのは、熱心に指

導して下さった松田

先生のおかげです。私

はの後の国スポにも出

場するので、もっとい

景色が見れるように頑

張ります！

土方綾乃(3・1)

結果は悔しかったです

が、スポーツの楽しさを

知る良い経験になりました。

先生や仲間たち、カヌー

に関わる方々と寒高の

皆さん、ありがとうございました！

女子テニス

令和8年度全国高等
学校総合体育大会テ
ニス競技大会

日時：8月20～8日

於：ウタキョーテニスバ

ク明日香

【個人】

×阿部ひまり(1・3)

0・6東京都代表

【顧問寸評】

インターハイという大き

な舞台に立つこと言う

ことは経験でき、自分

の実力不足や課題がう

きりと分かった。この経

験を糧に次の大会では

必ず成長できるように

日々努力したい。

【選手寸評】

関東上位の成績を残

す東京学館船橋の安

川選手(3年生)との初

戦であった。山形県大

会とは違う、前に出て

攻める試合の展開の早

さに、いつもと違うひま

りさんらしいテニスがあ

かなかできず、苦戦を

強いられた。一方で、全

国大会という場に雰囲気

ののまれることのない

大器を感じさせる大会

となった。今後のさらな

る成長に期待します。

【顧問寸評】

バドミントン

ドリームカップ

2026大阪大会

日時：7月23、24日

於：大阪東淀川体育館

【個人】

○正木愛龍(2・4)

20山梨県代表

×正木愛龍(1・2)

富山県代表



5年連続で全国優良賞
となった新聞部

【顧問寸評】

ファイナルゲーム

13点/15点での敗退は

本人が1番悔しいだろ

うが、一点の重みを

改めて学んだことだろ

う。次大会に向けてチ

ム全体のものとした。

【選手寸評】

初戦では自分が出せ

る最高のプレーができた

と確信しています。しか

し2回戦ではミスが目

立ち悔しい結果となり

ましたが、1点に笑い1

点に泣くそんな試合が

できるともいい経験に

なりました。大会を通

じて学んだことをチーム

と共有し、さらに高み

を目指して頑張ります。

【顧問寸評】

第73回NHK杯全国

高校放送コンテスト

日時：7月20～23日

於：国立オリンピック記

念青少年総合センタ

・Hコボル

アナウンス部門

阿部日菜吏(2・3)

準決勝出場

校内放送研究部門

インターネット時代に

おける放送の役割

三浦桃世(3・3)

後藤ゆかり(3・4)

準決勝出場

【顧問寸評】

全国のレベルは高く勝

ち進むことはできなかつ

たが、自分の目と耳で

全国の高校放送部のレ

ベルを体感できたことは

間違いない。次への大き

な糧となる。雪辱を果

たすべく次の大会に向

かい、放送部全体のレ

ベルアップにつなげた。

【選手寸評】

緊張しながらも各個

人、自分の実力を発揮

することができました。

全国大会という場で勉

強になることがたくさん

あったのでそれを活か

して次の大会も頑張つて

ほしいです！

【顧問寸評】

総合文化祭

第50回全国高等学校

総合文化祭秋田大会・

書道部門

日時：7月28、29日

於：CONEXPO山形アキタ

(本大会)

長岡樹香(3・5)

於：秋田拠点センター

アルヴェ(記念大会)

飯野翠(3・1)

【顧問寸評】

入賞には至りませんが

したが、2人とも三年

間の集大成を完成さ

せました。

【選手寸評】

記念大会などでは生

徒代表としてお礼の言

葉を述べるなどの活躍

をしました。

【顧問寸評】

第50回全国高等学校

総合文化祭秋田大会・

新聞部門

日時：7月28～30日

於：潟上市市民センタ

かりあ

年間紙面審査 優良賞

庄司瑛香(2・1)

矢口南海花(2・1)

【顧問寸評】

全国が集まった新聞

部の生徒と一緒に交

流新聞を作った経験を

これからの部活に生か

してほしいです。他校生

徒と積極的ににに関わ

って活動できました。

【選手寸評】

全国から集まった新

聞部員の方々と顧問

の先生方と協力して1

つの新聞を作り上げる

のはなかなかない経験だ

たので、とても勉強にな

りました。新聞づくりに

は協調性が大事である

と改めて感じました。